

1. 内政（すべては習近平権力の確立過程 ⇒20 回党大会への布石）

- ・ 反腐敗闘争（2012 年～） ⇒大衆の支持獲得
- ・ 権力闘争：2014 年周永康（江沢民派）・令計画（胡錦濤派）失脚 ⇒憲法改正（2018 年）
- ・ 「歴史決議」：鄧小平（先富論・改革開放）路線の軌道修正 ⇒習近平路線正当化（共同富裕）
- ・ 香港の体制転換（一国二制度の実質的終焉） ⇒大陸への民主的影響の波及阻止
- ・ チベットとウイグルへの政治的圧力 ⇒周辺不安定化除去
- ・ アリババ問題 + 恒大問題 = 民営企業（政治的紐帯）締め付け
- ・ 台湾問題 + 対米関係 = 強硬姿勢の明確化と反応チェック

2. 強靱さと脆さ（強権支配の表面と陥穽）

- ・ 権威主義体制 ⇒権力者による情報管理と不透明性の利点利用 ⇒民意を無視
- ・ 習近平体制の強権化 ⇒恭順と沈黙 ⇒不満の潜在化 + 個人独裁の陥穽
- ・ 共同富裕 ⇒再分配機能（社会主義）強化 ⇒成長鈍化との矛盾
- ・ 中間層（3～4 億人）の支持 ⇒成長鈍化による中間層の分裂
- ・ 共産党と海外資本との一体化 ⇒市場化の遅れと海外資本の流動性
- ・ 民主主義諸国、特に米国の揺らぎ ⇒コロナ後の世界はどうか

3. 外交（米国、台湾、周辺諸国、一帯一路、TPP、日本・・・）

- ・ 米中関係：競争／対立／対話 ⇒人権外交 + or - 経済実利 = engagement（関与）の終焉
- ・ 台湾問題：米国の対応 + 台湾の対応 ⇔ 中国の対応
- ・ 14 の周辺諸国 ⇒いずれも複雑な関係 ⇒ロシア、北朝鮮との関係？
- ・ 仕切り直しの一帯一路：不評、過剰投資、債務問題、英国離脱と EU 停滞
- ・ TPP：米国不在のタイミング、台湾加盟阻止、TPP 自体の変化 ⇒市場化できるのか？
- ・ 日中関係：政治／経済、抑止／対話 ⇒最大のテーマの東シナ海（点ではなく面）、経済安保